



報道関係各位

2018年10月12日
株式会社 ZMP

物流支援ロボット CarriRo®、World Robot Summit (WRS)に出展

—「Haneda Robotics Lab」ブース内にて、追従走行による空港内での活用シーンをデモ展示—

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、2018年10月17日(水)~10月21日(日)に東京ビッグサイトで開催される、経済産業省などが主催する「World Robot Summit 2018」において、物流支援ロボット CarriRo(キャリロ)を出展します。

物流支援ロボット CarriRo は、8月下旬より都内で実施された自動運転タクシーのサービス実証に代表される ZMP の自動運転技術を応用して開発された製品です。少子高齢化の流れにより急速な人手不足となっている物流業界において搬送作業の負荷を軽減し、省人化・効率化を目的として販売を実施しております。

現在、物流倉庫のピッキング作業や工場内の工程間配送、駅、空港で荷物搬送、荷物カート回収、商業施設における館内物流などで導入が広がっております。可搬重量及び更なる走行安定性の向上を実現した 2018年モデルは、自律移動機能を搭載することにより一段と活用方法が広がりました。



物流支援ロボット
CarriRo (キャリロ)

本展示会では羽田空港を管理・運営する日本空港ビルデング株式会社が設置した「Haneda Robotics Lab」のブースにて展示及びデモンストレーションを行います。

【展示会情報】

名称:World Robot Summit 2018

概要:<http://worldrobotsummit.org/>

会場:東京ビッグサイト 東 6・7・8 ホール

会期:2018年10月17日(水)~10月21日(日)

展示ブース番号:E-45

事前登録サイト:<http://worldrobotsummit.org/register/>

【デモンストレーション実施時間】

①10月17日(水) 14:05~14:35

②10月18日(木) 14:05~14:35

③10月19日(金) 14:50~15:20

④10月20日(土) 16:20~16:50

⑤10月21日(日) 10:20~10:50

【物流支援ロボット CarriRo(キャリロ)】

CarriRo はジョイスティックによる操作ができるドライブモードおよびビーコン(発信機)を自動追従するカルガモード、及び自律移動機能を有した台車型物流支援ロボットです。CarriRo の機能を活用することで、運搬の生産性を最大約 3 倍まで引き上げることが可能です。CarriRo 単体では、最大 150kg の荷物を、CarriRo にオプションの牽引治具を取り付けることで約 300kg の荷物を 8 時間連続で運ぶことができ、倉庫や物流センター内のピッキング業務の効率化や、工場内の工程間搬送に利用することでベルトコンベアや AGV(無人搬送車)を代替することも可能です。また作業負荷が大きく軽減されることにより、これまで重労働と見られていた運搬作業を女性や高齢者でも行えるようになるため、働き手の拡充、雇用の促進にもお使い頂ける製品です。

【製品 Web URL】 <https://www.zmp.co.jp/carriro/>

【動画】 <https://youtu.be/aBSwF8SvfcU>

【製品価格】

CarriRo 2018 年モデル: 5 年リース 月額 28,000 円(税別) / 1 台

自律移動モデル: 5 年リース 月額 52,000 円(税別) / 1 台

【主な仕様】

本体重量:	55kg	牽引力:	250N (300kg 相当) ※路面状況や台車の状況によります。
大きさ:	幅 61cm × 奥行 91cm × 高さ 24cm ※ハンドル部 96cm	充電時間:	2 時間半
最大積載荷重:	150kg	稼働時間:	8 時間 ※稼働状況によって異なる可能性があります。
最大速度:	時速 6km		

※「自律移動モデル」の上記仕様は基本的に 2018 年モデル(追従機能)と同一と想定していますが、今後変更の可能性がございます。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP キャリロ事業部 TEL: 03-5802-6901 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020 年の無人タクシー実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017 年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Delivery の実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。

【日本空港ビルディング株式会社】

<https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/hanedaroboticslab/>

代表取締役社長執行役員兼 COO 横田 信秋

日本空港ビルディング株式会社は、東京国際空港(羽田空港)における国内線旅客ターミナルビルを建設・管理運営する空港機能施設事業者で、旅客ターミナルや駐車場の管理・運営を行うほか、羽田空港国際線ターミナルの管理・運営しております。2016 年より、「オール羽田」の取り組みとして「Haneda Robotics Lab(ハネダ ロボティクス ラボ)」を設置し、ロボットの技術検証を目的に、羽田空港でロボット製品(プロトタイプ含む)の実証実験と将来的な導入を目指す「羽田空港ロボット実験プロジェクト」を行っております。